

令和7年度 おかやま・もったいない！ 小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト 参加者募集！

私たちは、とても便利で快適な暮らしをしています。貴重な資源を消費するだけでなく、たくさんの「ごみ」を生み出しています。

そこで、岡山県では、**もったいない**精神の普及と**3R**（スリーアール：リデュース（ごみをもとから減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源として再生利用する））に対する意識を高めるため、次のとおり家庭でできる食品ロス削減、プラスチック・海ごみ削減を通じた3Rの取組を行う参加者を募集します。

応募資格

県内の小学生

家族と一緒に取り組むこと

■取組期間

令和7年8月31日までのうち1週間以上

■取組内容

「もったいないチャレンジャー」として小学生とご家族が一緒に、食品ロス削減、プラスチック・海ごみ削減を通じた3Rの取組をし、「報告用紙」に記録します。

A：食品ロス削減チャレンジ

買い物や食事において食品ロス削減に向けた取組

B：プラスチック・海ごみ削減チャレンジ
プラスチック製品使用削減、河川等へのごみの流出防止の取組

■応募方法

学校を通じて提出してください。

- ・応募は報告用紙1人1点としてください。
※ただし、家族内の兄弟等が同じ取組をした場合は、代表者1人1点とします。
- ・取組状況の写真や取組資料などでもできるだけ添付してください。
- ・学校内の応募を取りまとめ、応募者名簿（別紙）を添付して送付してください。

応募締切

令和7年9月12日（金）
必着

■審査

主催者が委嘱した審査員が審査します。

■表彰

個人の部、団体の部に、次の賞を贈ります。
（賞状及び副賞を贈呈）

- ・個人の部
最優秀賞：1名 優秀賞：5名 努力賞：10名
- ・団体の部
最優秀賞：1学校 優秀賞：若干校

受賞者は、学校名、学年、氏名を公表しますので、ご了承ください。

応募者全員に
参加賞を
プレゼント♪

■表彰式等

表彰式：12月に岡山市内で開催（予定）
作品展示会：県内3箇所（予定）

■応募作品の取扱い等

応募作品の一切の権利は、主催者に帰属し、返却しません。
受賞作品は、岡山県で管理し、広報等に活用します。

<お問い合わせ・応募作品送付先>

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

岡山県環境文化部循環型社会推進課内

「おかやま・もったいない！

小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト」係

電話：086-226-7306 FAX：086-224-2271

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/30>

報告用紙等ダウンロードできます。

たくさんのご応募
お待ちしております。



©岡山県「ももっち・うらっちと仲間たち」

主催：岡山県

共催：岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議・公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

産業廃棄物処理税活用事業

岡山県では、産業廃棄物の処分量に応じて、事業者課税し、廃棄物の抑制やリサイクルの推進に活用しています。



知って気づいてエコな情報

○年間の「食品ロス」量は、約472万トン！

日本では、年間約2,232万トンの食品廃棄物等が出されています。このうち、食べられるのに捨てられる、いわゆる「食品ロス」は、約472万トンにも及びます。これは、国民1人当たりが毎日おにぎり1個分（約103g）の食品を捨てていることと同じです。

※環境省、農林水産省 HP 参照



○一人が1年間に9kg捨てているものは？

あなたが何気なく捨てている服、でも、日本全国では、年間約100万トンが捨てられると推計されています。一人あたりにすると、年間約9kgの服を捨てていることになります。捨てられた服のうち、リサイクルされるのは5～10%程度と推測されており、そのほとんどが焼却されたり、埋め立てられています。流行だからといって、安易に新しい服を買っては、古い服を捨てていませんか？

※（一財）環境イノベーション情報機構 HP 参照



○牛乳パック6枚で、トイレットペーパーが1つできます！

飲み物用の紙パックの生産量は年間約70億個。日本人1人あたり約58個の紙パックを、1年間に使っている計算になります。（1週間に1個程度。）これを、そのまま捨てないで、紙の原料などに使えたらいいですね。牛乳パック6枚あれば、トイレットペーパーが1つできるそうですよ。

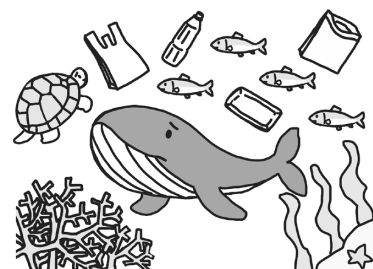
※「全国パック連」HP 参照



○海洋汚染の主な原因は「プラスチックごみ」

陸などで捨てられたプラスチックごみが河川などを通じて海へ流れ、世界全体で毎年800万トンのプラスチックごみが海に流入しています。

このままでは、2050年には海洋中のプラスチックごみの重さが、魚の重さを上回ると予測されています。 ※環境省 HP 参照



○日本人が世界で2番目に多く捨てているごみは？

日本は1人あたりのパッケージ用プラスチックごみの発生量が、アメリカに次いで世界で2番目に多い国です。

特にペットボトルやレジ袋、食品トレーやストローなど一度利用されただけで捨てられてしまう「使い捨て用」に使われることの多いパッケージの使用量が、プラスチックごみの量の増加に大きく影響しています。

使い捨てプラスチックを「使わない」「減らす」ことを心がけてみましょう。スーパーなど、食品トレーやペットボトルのリサイクルBOXで回収している場所もあります。

※「SINGLE-USE PLASTICS」UNEP 報告書参照

